



富山県

No.90 2019年1月

中央植物園だより



第21回私の植物写真展入選作品「最後の残雪」撮影 / 小鍛冶 秀明さん

フクジュソウ（キンポウゲ科）

雪融けとともに開花する春植物で、上層を覆う樹木の葉が展開する頃には地上部は枯れて翌春まで休眠します。江戸時代には160余りの品種が記録され、栽培が盛んに行われてきましたが、近年は園芸品種とともに乱獲などにより各地の自生地での絶滅が危惧されています。

クリスマスローズ展のお知らせ

第6回クリスマスローズ展を2月22日（金）～24日（日）の3日間開催します。富山県クリスマスローズ生産者組合・富山クリスマスローズの会会員の作品展示のほか、今年はクリスマスローズを鑑賞しながらクイズに答えるクイズラリーを行う予定です。



イベント開催レポート

特別展「リンゴ展ーリンゴ図鑑111ー」

10月5日から11月18日までの40日間、特別展「リンゴ展」を開催しました。日本のリンゴの主要生産地青森県や長野県のほか、県内の生産組合や果樹研究所などの協力を得て、期間中111品種の果実とその特徴をパネルで展示、紹介しました。

また、期間中TOYAMA 植物フォーラムなど多数の関連イベントを開催しました。



中央植物園の開園25周年を記念して、「25」という文字の型抜きしたリンゴを展示。



展示した111品種のリンゴのなかには普通見ることのできない珍しい品種もありました。



フルーツカービング作家中島淳さん（富山市在住）の作品を展示。

富山 Apple Day

アップル・デーはイギリスで1990年ごろ始まったリンゴの収穫祭で、毎年10月21日にイベントが開催されています。植物園では「リンゴ展」の期間中の10月21日（日）に「富山 Apple Day」と題して、展示会場でリンゴのスイーツ販売や生産組合によるリンゴ販売などを行い、大盛況でした。また午後からのリンゴの皮むきコンテストには加積りんごマスコットの「かづりん」「りんちゃん」「かづくん」が応援に駆け付け、優勝者の作品は2mを超す皮の長さでした。



りんご生産組合やスイーツ販売のブースは来園者でにぎわいました。



家族の応援を受けて皮むきに集中する参加者。

二口善雄画伯の植物画に見る園内の植物（7）

富山県中央植物園には、二口善雄画伯（1900-1997）から寄贈された1900点余りの植物画が収蔵されています。その中から、1月から3月の植物を紹介します。



ナノハナ（1953年2月13日制作）横27cm×縦40cm（部分）

園内ではサクラ・ウメ園のハナモモの下で3月下旬ごろから見頃になります。



シンビジウム（1958年2月18日制作）横28.5cm×縦40.5cm（部分）

ラン温室ではいくつかの園芸品種を見ることができるほか、野生種のシュランはクリ・コナラの森で3～4月に見頃になります。



ツバキ‘紅妙蓮寺’（1953年2月22日制作）横25cm×縦32cm（部分）

サクラ・ウメ園で早い年は12月ごろから咲き始めますが、見頃は3月です。

富山の植物 ◎『トベラ』

栽培展示課副主幹 高橋 一臣

都市の公園や道路の緑地帯などに植栽されることもある比較的身近な常緑樹のひとつに、トベラがあります。この植物は、本来は海からの風を直接受けるような海岸の崖に群落をつくります。富山県の海岸は砂浜や人工海岸が多く、トベラの分布は限られていますが、氷見市の海岸の崖には自生と思われるトベラがみられます（写真1）。

トベラ *Pittosporum tobira* はトベラ科の常緑低木で、つやのある厚い葉をつけます。葉のへりが裏側にやや反り返るのが特徴です。花は5～6月に咲き、白色で芳香があります（写真2）。雄株と雌株があり、雌株にはやがて丸い果実ができますが、緑色であまり目立ちません。冬のはじめ頃、果実が3つに裂けて、中から赤い種子が現れます（写真3）。種子の表面は樹脂状のねばねばした物質でおおわれており、属の学名 *Pittosporum*（ピットスポルム）は「樹脂」と「種子」を意味するギリシア語に由来します。

本州の岩手県南部から沖縄にかけての海岸に自生し、台湾、朝鮮半島南部などにも分布します。富山県より北の日本海側では、能登半島から舩倉島のほか、佐渡島にも自然分布があるようです。

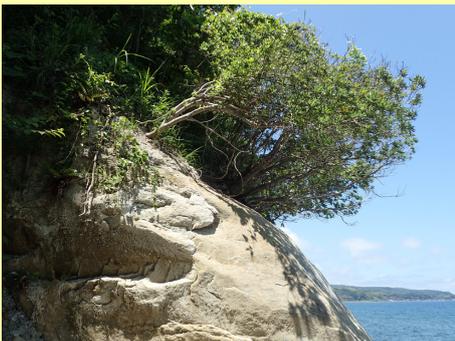


写真1. 海に面した崖に生育するトベラ。



写真2. 花は白色で、のちに黄色に変わる。写真は雄花。



写真3. 裂開した果実。種子は赤色で、粘液におおわれる。

月下美人の仲間たちはどのように結実した？

一般にゲッカビジンの仲間は中央アメリカを中心に自生し、コウモリの仲間によって受粉するといわれています。富山にはそのようなコウモリは生息していないにもかかわらず、ゲッカビジンをはじめ、ヨイマチクジャク（宵待孔雀）、ヒメゲッカビジン、フィッシュボーンカクタス、ミニドラゴンフルーツ、満月美人（園芸品種）、恵比寿美人（交配種）の7種類が10月下旬ごろから結実しはじめました。

フィッシュボーンカクタスとミニドラゴンフルーツは1個体でも結実しますが、ゲッカビジンの仲間の多くは自家不和合性（同じ個体の花粉では結実しない性質）が知られていて、挿し木で増殖された国内のゲッカビジンが結実することはないといわれています。何者かがこれらの種類の間で花粉のやり取りを手助けしたとしか考えられません、謎です。



写真 熱帯果樹室入口に勢揃いしたゲッカビジンの仲間（上）と熟して裂けてきたゲッカビジンの果実（左）

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

第6回新春カトレヤ展

1月11日（金）～1月14日（月・祝）

平成30年度研究発表展

1月18日（金）～2月20日（水）

第6回クリスマスローズ展

2月22日（金）～2月24日（日）

第47回富山県蘭まつり大会

3月1日（金）～3月3日（日）

第15回雪割草富山県大会

3月8日（金）～3月10日（日）

公募写真展

3月15日（金）～

■講演会

平成30年度研究発表会

1月27日（日） 13:00～16:00

会場：サンライトホール（入園料が必要です）

■講座・講習会

栽培講習会

「カトレヤの栽培と管理」

1月12日（土）・13日（日）

両日とも 13:30～14:30

会場：サンライトホール（入園料が必要です）

栽培講習会

「クリスマスローズの栽培と管理」

2月23日（土）・24日（日）

両日とも 13:30～15:00

会場：ドリアスホール（入園料が必要です）

栽培講習会

「ランの栽培と管理」

3月2日（土）・3日（日）

両日とも 10:30～12:00、14:00～15:30

会場：管理研修棟研修室

栽培講習会

「雪割草の栽培と管理」

3月9日（土）・10日（日）

両日とも 13:30～15:00

会場：ドリアスホール（入園料が必要です）

■ボタニック・ガーデニングクラブ

（高校生以上対象、定員に達し次第締切）

初めてのラテアート ◎要申込

2月11日（月・祝） 13:30～15:30

定員：15名

参加費：500円

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

—ボランティアと歩く植物園—

第1,2,4日曜日 13:30～14:00

集合場所／サンライトホール

—園長と歩く植物園—

第3日曜日 13:30～14:00

集合場所／サンライトホール

◎要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から前日までに「電話」でお申込ください。



富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00（入園は16:30まで）
（11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで）

休園日 毎週木曜日

（4月第1,2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園）
年末年始（12月28日～1月4日）

入園料 大人（一般および大学生）500円
団体料金（20名以上）400円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料

冬期入園料（12月～2月）

大人（一般および大学生）300円
団体料金（20名以上）240円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料

年間パスポート（購入日より1年間有効）2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファボーレ経由萩の島循環」または「ファボーレ経由速星行き（休日のみ）」に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分／富山市中心部より車で約15分／北陸自動車道富山インターより車で約15分／JR速星駅より車で約8分